



今尾の子



令和4年度 えのき通信

海津市立今尾小学校だより

令和4年9月1日

今まで培ってきた力を発揮する時

一学期は大きなけがや病気もなく、無事に児童が過ごすことができたのは、保護者の皆様や地域の方々のおかげであることに感謝します。そして、迎えた夏休みも同様に、無事に終えることができました。

八月二日と二十一日には、全校一斉のZoomがありました。どの児童も元気な姿を見せていました。また、夏休みの課題提出を八月下旬の期間に、保護者の協力で提出していただけたことにも感謝します。

「自分の命・自分の健康は自分で守る」ことを終業式で話しましたが、九月一日に児童・先生方とも無事に登校できたことは、このことを実践した証だと思えます。二学期も新型コロナウイルスに感染しないように、家族皆さんと共に心掛けましょう。また、まだまだ暑い日が続くことが予想される中で、熱中症にも気を付け、事前の、こまめな水分補給等をしていきましよう。これらのことを生かして、一学期以上の素晴らしい二学期がスタートしました。

そこで、二学期には、様々な行事・校外学習等があります。今まで培ってきたいろいろな力が、本物であることを証明する学期です。特に、学校外での活動での言動に、本物になっているかが現れます。きつと今

年も、どの学年でも、学校外でも相手が気持ちよくなるような言動をしてくれると信じています。

だからこそ、行事・校外学習等よりも大切にしなければいけないのは、毎日の基本的な生活や学習、授業です。一学期にできていたこと以上のことに挑戦したり、できていなかったことを修正・改善したりする中で、〇〇だけをやればいいのではなく、全てのこと「よく考える」「仲よく励まし合う」「粘り強く」をいつも心において、何事も『丁寧』に取り組むことを大切にしましょう。よい結果を残すだけではなく、取組の過程を大切にしましょう。例えば、高学年の下足箱には、いつも靴の踵がそろえて入れてありました。また、いつも丁寧に文字を書くことを心掛けている子、自分の名前をいつも丁寧に書いている子がいます。多くの子もマスク越しですが、さきかけ挨拶をしてくれる子が増えています。課題を提出しに来た時に、運動場の端から端まで聞こえるような挨拶をしてくれた子がいます。

入れてあればいい、書いてあればいい、声を出していればいいのではなく、「これでもいいのか」と立ち止まって、間をあけて見直せるかが大切です。

まだコロナ禍が続くかもしれませんが、

自分の命、健康を自分で守り、今まで培ってきたよい習慣を、どの場面でも言動で示してくれると信じています。長期休業があけた時に、さすが高学年というにふさわしい「よい習慣が身に付いている」証拠があります。それは、言われなくても自分たちで、当たり前のように、生活・学習ができることです。

今まで以上に、家族や地域の方々には、毎日見守り、かわり、見届けていただくことをよろしくお願いします。



家庭でも感染予防・拡大対策の再徹底を

コロナ感染がまだまだ止まらない状況です。これまでも基本的な感染予防対策（マスクの適切な着用・手洗い等）に努めていただきありがとうございます。今後より一層感染予防の徹底をお願いします。

また、感染拡大させないために、本人はもちろんです。同居のご家族で体調等が普段と少しでも異なる場合には、登校や出勤を自粛し、自宅で休養してください。これも、外からウイルスを学校内に持ち込まないようにするための一つです。

今後も予定されている授業・行事等を変更せざるをえないことが考えられます。オンラインによる授業なども想定されます。

今後、様々な面でのご理解・ご協力をお願いします。

(日比 修二)